



RifuTown assembly

議会だより

りふー

6月定例会

補正予算	2
中学校部活動地域移行の体制整備へ	
追跡レポート	12
防災情報の発信への取り組み	
表紙インタビュー	13
地域おこし協力隊(梨農家部門)の活躍	
いきいき活動	16
手話サークル「まほうの手」を紹介	

406万円



子どもたちにとって活動しやすい体制の整備を

問 事業の内容は。

答 少子化が進む中で、中学校の部活動を維持することが難しくなっている。また、教員の働き方改革などの観点から、国・県より部活動の地域移行のガイドラインが示されている。実証事業として、休日の部活動の地域移行を委託したいと考

歳出
406万円増

部活動地域移行体制整備業務委託



仲間との繋りを作る大切な時間

令和7年度 一般会計補正予算

1億1031万円を追加し

総額 159億円

6月定例会は6月10日から13日まで4日間の会期で開かれました。

令和7年度一般会計予算に1億1031万円を追加し、総額159億7031万円とするものです。

■一般会計の主な補正予算項目

(万円未満切り捨て)

債務負担行為の補正(追加)

項目	期間	補正額	補正の理由
自動車賃貸借事業	令和8年度から14年度まで	+2133万円	令和7年度中にリース期間が満了となるため追加
総合情報システム機器追加賃貸借事業	令和8年度から10年度まで	+458万円	福祉相談事務の増加に伴う端末追加
文化交流センター指定管理事業	令和8年度から12年度まで	+14億4000万円	指定管理者制度による管理運営を継続するため追加

歳入(収入)

項目	補正額	補正の理由
放課後児童健全育成事業	+301万円	利府二小児童クラブサテライト開設へ国・県からの補助金を増額
地域スポーツクラブ活動体制整備事業費補助金	+330万円	休日部活動の地域移行に向けた実証事業への県からの補助金を増額
公共施設整備基金繰入金	+1000万円	消防団東部分団詰所等整備事業に充当するため増額

歳出(支出)

項目	補正額	補正の理由
一般コミュニティ助成事業	+250万円	新中道町内会に補助金を交付するため増額
利府二小児童クラブサテライト運営業務委託料	+1152万円	サテライト開設の必要経費を増額
予防接種業務委託料	+2460万円	令和7年度新型コロナワクチン定期接種業務委託料を増額
部活動地域移行体制整備業務委託料	+406万円	部活動地域移行の実証事業を行うため増額

中学校部活動

地域移行の体制整備に

歳出

RIFUモルック 大会開催業務委託

問 モルックの人気度は。

答 体育館などでの貸し出しが増えてきており、追加で購入し、対応しているところである。

問 開催内容の概要は。

答 当初は、十符の里スポーツパークフェスティバルの中で行う予定だったが、モルックの人気の高まりから、モルック大会



を別に開催したいと考え企画した。多くのチームに参加してもらえるとと思っている。



子どもから大人まで一緒に楽しめるスポーツです

歳出

250万円
増

一般コミュニティ 助成事業

問 新中道町内会の備品購入との説明である。具体的な内容は。

答 環境整備に使用する草刈り機や集会所で使用するテレビ、テント、椅子、机を購入する予定である。

債務負担行為
14億4000万円
追加

文化交流センター 指定管理事業

問 契約までの進め方を伺う。

答 指定管理のガイドラインに沿って選定委員会を設ける。その中で最終的にはプロポーザル方式で選定していきたい。

問 当初予算でも質疑したが、しっかりと町民の声を反映するようにしてほしい。検討状況はどうか。

答 利用者の声も把握している。仕様書に盛り込み、町民にとってさらに良い施設となるよう進めたい。

問 プロポーザル方式と聞いているが、業者の見込みはどうか。

答 興味を示している事業者は今のところない。

職員の不祥事の監督責任

町長・副町長の給料減額

令和7年3月に発覚した、職員の一連の不祥事に係る管理監督責任に対する処分を行うため、町長・副町長の給与を減額するもの

町長の給料減額
給料月額10%を令和7年7月から3か月の間減額

副町長の給料減額
給料月額10%を令和7年7月から2か月の間減額

問 減給の処分は、どのようなプロセスを経て決めたのか。

答 特段基準等はない。他市町村の事例や、10年前にも町で同様の事案があり、その事例を見て特別職自らが判断した。

問 管理職による隠蔽も大きな問題である。今後の対策は。

答 職員の認識を高めるため、コンプライアンス研修を実施した。

問 横領した本人の刑事告発はどのようになるか。

答 見送ることとした。

問 10年前は横領が3件であった。今回は1件だが、隠蔽があった。10年前と同じ処分でのよいのか。

答 特別職本人が最終的に結論を出したもので理解いただきたい。

討論

賛成



小淵洋一郎

妥当な判断である

プロセスを踏み、処分を検討したことを確認した。特別職は処分基準がない。法的根拠に準拠し、事例を参考に決定した内容であり、妥当な判断である。

賛成



伊藤 司

自ら律することで良い

今回の処分が重いか軽いかの判断基準を我々議員は持ち得ない。町長と副町長が自ら律するということが良いと考える。

反対



永野 渉

本議案を廃案にし再提出を求める

討論の中身は、先ほど質疑の中で申し述べた。法律論だけで進めるのではなく、誰が見てもおかしいと思う部分は変えるべきである。この議案を廃案にし、改めて提案することを求める。

「(旧) 十符の里プラザ跡地利活用方針」 に関する請願書

【請願者】

(旧)役場跡地利活用を考える会

代表 伊藤 昇一(大町)

紹介議員 阿部 彦忠

【請願内容・要旨】

「町が進める『(旧)十符の里プラザ跡地利活用方針』を白紙撤回していただきたい」



以前この地に建っていた利府村役場(明治37年4月使用開始)

報道により跡地を民間に売却すると発表された後、町が開催した説明会では私たち住民が納得できるものは示されませんでした。私たちは左記の理由により町が進める「(旧)十符の里プラザ跡地利活用方針」に反対です。

「旧役場跡地は町民全体の財産です」

先人の方々の寄進や協力により土地が確保され、現在までの町の繁栄の礎としてきたところです。旧役場跡地は町民全体の財産であり活用方法は時間をかけて吟味し、多くの町民の意見が反映されることが重要です。拙速に民間へ売却するなど、取り返しのつかないことは避けるべきです。

「旧役場跡地に必要なものは何か」

町の計画では、民間の活力を利用しマンション建設を進めようとしています。未来に役立つ活用方法や施設は何かを柱に考えることが肝要です。福祉や教育施設、災害に備えた設備など土地利用方法は多岐にわたり考えられます。

将来的にこの施設、この場所があつて良かったねと思われものを旧役場跡地に創ることは今を生きる私たちの責務です。

【委員会付託】

この請願は、総務企画常任委員会に付託されました。今後、委員会で審議していきます。

令和7年6月定例会 採決状況一覧

○賛成

×反対

議長(鈴木 忠美)は採決に加わらない。

議案	郷右近 佑悟	阿部 彦忠	須田 聡宏	高木 綾子	皆川 祐治	鈴木 晴子	金匱 文雄	土村 秀俊	浅川 紀明	今野 隆之	小淵 洋一郎	高久 時男	伊藤 司	羽川 喜富	永野 渉	鈴木 忠美	結果 (賛成:反対)
報告第2～5号	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
承認第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	承認(15:0)
議案第32号	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	可決(13:2)
議案第31・33号～42号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(15:0)

令和7年6月定例会提出議案 17件(報告4件、承認1件、議案12件)

報告2 専決処分の報告

利府第二小学校駐車場において、案内看板が強風で倒れ駐車車両に接触し損傷を与えたことで相手方と和解したことを報告

報告3 繰越明許費繰越計算書

令和7年1月臨時会及び3月定例会において議決した令和6年度一般会計予算の11件の事業を令和7年度に繰越したことを報告

報告4 水道事業会計予算繰越計算書

配水本管布設替事業を令和7年度に繰越したことを報告

報告5 下水道事業会計予算繰越計算書

ストックマネジメント計画に伴う実施設計委託事業を令和7年度に繰越したことを報告

承認1 専決処分の承認

「地方税法及び地方税法等の一部を改正する法律の一部を改正する法律」が公布されたことに伴い、課税上緊急を要したため、3月31日に「町税条例の一部改正」及び「国民健康保険税条例の一部改正」を専決処分

議案31 町税条例の一部改正

「地方税法及び地方税法等の一部を改正する法律の一部を改正する法律」が公布されたことに伴い、関係する条例の所要の改正

議案32 特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正

職員が起こした不祥事の総管理監督職である町長と事務を総括する副町長の責任に対する処分を行うため、給与月額を減額する

- ・町長 給与月額の100分の10を3か月減額
- ・副町長 給与月額の100分の10を2か月減額

4ページに関連記事

議案33 水道の布設工事並びに布設工事の監督者及び水道技術管理者の資格を定める条例の一部改正

建設業法施行令及び国立大学法人法施行令の一部を改正する政令が施行されたことに伴い、関係する条例の一部を改正

議案34 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び利府町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

子ども・子育て支援法施行規則等の一部を改正する内閣府令が施行されたことに伴い、関係する条例の一部改正

議案35 特定個人情報に関する条例の一部改正

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律に基づき、地方公共団体情報システムを標準化することに伴う、条例の一部改正

議案36 令和7年度一般会計補正予算

1億1031万6000円を追加し、総額を159億7031万6000円とする

2,3ページに関連記事

議案37 令和7年度国民健康保険特別会計補正予算

550万8000円を減額し、総額を31億6516万8000円とする

議案38 令和7年度介護保険特別会計補正予算

267万9000円を減額し、総額を26億3854万4000円とする

議案39 令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算

35万1000円を追加し、総額を4億6652万7000円とする

議案40 令和7年度水道事業会計補正予算

「収益的支出」を593万7000円増額し、「資本的支出」を329万1000円減額

議案41 令和7年度下水道事業会計補正予算

「収益的支出」を139万1000円増額し、「資本的支出」を126万4000円減額

議案42 工事請負契約の締結

県道仙台松島線の道路渋滞の解消や分散を図ることを目的として整備する、新中堀新川崎線舗装工事の請負契約を締結

8人の議員が

一般質問

我が町政を問う

須田 聡宏 P8

- カラオケ施設の誘致
- 児童数減少への対応

浅川 紀明 P8

- バス停のベンチ整備
- 救急車両の充実

鈴木 晴子 P9

- 加齢性難聴の早期支援
- RSウイルス感染症の周知

小淵 洋一郎 P9

- m o b i の今後の運用
- 一般競争入札の課題

高久 時男 P10

- 職場環境改善事業の課題
- 記念モニュメント寄附の経緯
- 附帯決議・附帯意見に対する町長の認識

阿部 彦忠 P10

- (旧)十符の里プラザ跡地の現況
- コンプライアンス違反への対応

金萬 文雄 P11

- 合併処理浄化槽の整備
- m o b i の利便性向上

土村 秀俊 P11

- 学校給食費無償化の拡大
- ふるさと納税への取り組み

質問と答弁を要約した内容は、8ページから11ページです。なお、全文記録(議事録)は9月中旬に利府町議会ホームページに掲載しますのでご覧ください。





すだ あきひろ
須田 聡宏



質問者の動画が見られます

カラオケ施設の誘致



あらゆる可能性があるカラオケ

問 事業者へのアプローチはどうか

答 空き物件がなく進展しない

問 カラオケは娯楽としてリフレッシュ効果がある。その他の具体的な効果を町はどう捉えているか。

答 運動不足の解消、コミュニケーション能力の向上、認知的効果、音楽活動での利用など多くの可能性があるかと捉えている。

問 誘致にあたり、事業者にはどのようにアプローチしたのか。

答 さまざまな業務形態があると認識している。対象企業を広げながら誘致していきたい。

児童数減少の対応

問 菅谷台小学校の統廃合への考えは

答 現段階では検討していない

問 菅谷台小学校の児童数減少は想定内か。

答 自然増減として減少が続くと認識している。

問 菅谷台小学校の統廃合への考えは。

答 現段階では統廃合の検討はしていない。

問 空き教室を利用して、教職員を支援する取り組みを検討できないか。

答 現段階では考えていない。

問 少人数指導などで教員の加配が厚くなっているが、教員の人手不足は解消されているのか。

答 教育委員会からさまざまな人材を配置し、教職員の負担を減らすべく対応しているところである。



あさかわ のりあき
浅川 紀明



質問者の動画が見られます

バス停のベンチ整備



ベンチが必要な人たちがいます

問 高齢者等のためベンチが必要では

答 令和7年度改めて整備計画を作成

問 ベンチ整備の現状、当面の整備計画は。

答 令和3年度に調査を行い、9か所整備する計画とした。既に7か所が新設・更新整備済みである。

問 9か所は少ない。公共交通充実の一環として、また、高齢者等のためさらなるベンチ整備を進めべきでは。

答 私が独自に調べた全バス停のベンチ整備の調査結果を活用してもらえないか。

問 救急車購入のため、一陸上自衛隊利府射撃場一関連の、国の補助事業を活用してはどうか。

答 二市三町全体での運用状況が課題であり、今後調査する。

救急車両の充実

問 利府消防署の救急車を増車しては

答 総合的に見直す予定である

問 塩釜消防事務組合の中で利府消防署の救急車運用が最も厳しい。この現実を認識しているか。

答 令和6年度の運用の状況から差し迫った現状にはない。しかし、今後高齢化の進行と人口の増加から救急件数が増加することも見込まれる。

問 今後、増加が見込まれることから、組合と連携し早急に救急車の増車を図るべきでは。

答 組合では令和11年を目標に、救命士の増員、救急車の増車を総合的に見直す予定である。

一般質問



鈴木 晴子



質問者の動画が見られます

加齢性難聴の早期支援



補聴器の適切な利用で充実した日々を

問 聞こえ相談会の開催を

答 開催に向け取り組む

問 加齢性難聴の高齢者を早期に発見し、支援するために「聞こえ相談会」を開催してはどうか。

答 県では令和7年度より、加齢性難聴市町村支援事業を実施する。この事業を活用し、開催に向け取り組んでいく。

問 自分に合った補聴器を見つけて出すことに難しさを抱えている人がいる。

RSウイルス感染症

問 呼吸器感染症RSウイルスの周知を

答 ホームページを活用し周知

問 呼吸器感染症のRSウイルスは、乳幼児や基礎疾患のある高齢者に、下気道感染等により重症化をきたす可能性がある。この感染症の周知が必要と考えるがどうか。

答 ホームページ等を活用し周知していく。

問 専門家へ相談することの大切さを周知する必要があると考えるがどうか。

答 広報紙などを活用し、周知していきたい。

問 加齢性難聴者へ、補聴器購入への補助を早期に実施すべきでは。

答 福祉部門の事業の中で優先順位をつけながら今後検討していきたい。

問 現在、厚生労働省でワクチンの有効性、安全性などに関するデータ収集が行われている。定期予防接種化の必要性の検討が進められている状況である。積極的な周知は考えていない。

一般質問



おつういぢろう 小淵洋一郎



質問者の動画が見られます

mobiの今後の運用



町民の望む運用を

問 予約システムを改善できないか

答 事前予約システムを導入する

問 令和6年12月に運行エリアを拡大した。葉山団地まで広げる考えは。

答 東部地区を対象に公共交通に関するアンケートを実施した。結果を踏まえ、慎重に検討したい。

問 利用者から「予約ができない」「来る時間が読めない」との声がある。システムを改善できないか。

答 現在の運行状況に鑑み、事前予約システムの導入は可能である。

問 2台の運行で事前予約システムを導入するのは無理があるのでは。

答 積算内容に合理的な根拠があり、問題なしと判断した。

問 町では、最低制限価格は75〜92%で設定している。令和3年度以降75%程度の入札が3件あった。最低制限価格を引き上げ、質の良い工事を発注すべきでは。

答 国、県の指針に基づき必要に応じ見直す。

一般競争入札の課題

問 最低制限価格を上げ品質の向上を

答 必要に応じて見直しをかける

問 一般競争入札における低入札価格調査を実施しているか。

答 令和4年度から令和6年度までに8件を実施した。

問 一般的に予定価格の70〜90%の範囲で調査する。町が公開している総合評価落札調書では、落札率71・9%の契約が令和4年度にあった。問題はなかったのか。



たかく ときお 高久 時男



質問者の動画が見られます

職場環境改善事業

写真はイメージです



町に見合った職場環境か

記念モノコメント寄附の経緯

問 現物寄附に至った経緯を伺う

答 町の方針にご賛同いただいた

問 記念モノコメントが企業版ふるさと応援寄附金で設置できたことは大変喜ばしいことだ。寄附していただいた企業関係者の皆様にはお礼を申し上げたい。現物寄附に至った経緯を伺う。

問 ※フリーアドレスは時期尚早ではないか

答 フリーアドレスだけが目的ではない

問 秘書政策課をフリーアドレス仕様に改装する経費が、令和7年度当初予算で計上された。この事業は、時期尚早と考えるがどうか。

答 フリーアドレスだけが目的ではなく、働きやすさと生産性向上が両立できる職場環境の構築を目指している。

問 令和3年度から検討を始めているが、議会に相談がなかった。報告すべきではないか。

※ フリーアドレスは、固定席を持たず、自由に席を選んで働くスタイル

答 事務の改善と捉え、議会へ報告が必要なものとは認識していない。

問 議会の一週間前に全員協議会で報告され、採決を求められることが多い。調べる時間が欲しい。

答 議案を提出した際に、各議員の見識、知識で判断してもらいたい。

答 令和6年12月に町の方針にご賛同いただき、この度、現物寄附に至った。

問 現物寄附という形式をとったことにより、現金での寄附ではなくなる。そのことで、議会の議決が必要なくなったと考えるがどうか。

答 国の制度にのっとり寄附していただいた。



あべ ひこただ 阿部 彦忠



質問者の動画が見られます

(旧)十符の里プラザ跡地の現況



見通しの確保を

コンプライアンス違反

問 再発防止に向けた取組は

答 共通マニュアルを策定する

問 一時的な利活用は可能か

答 駐車場として利用できる

問 解体工事は終了したと聞いているが、仮囲いが残っている。残りの工事があるのか。

答 残作業や工事計画はない。

問 中央児童センターのイベント等で駐車場が足りないときは開放できる状態になっている。

問 跡地側の歩道は通路として子どもや自転車の通行も多い。丁字路側の見通しを確保するため仮囲いを後退できないか。

答 歩道の幅員は変えず、仮囲いをメートル以上後退して建てている。危険性が見受けられる場合は検討する。

問 現金の取り扱いをどのようなルールで運用していたのか。

答 各種協議会や団体の所有に属する現金等である準公金は、「利府町準公金取扱規則」によりルールを定めている。

問 再発防止に向けての改善策はあるのか。

答 公金を含め、現金の取り扱いルールに関する統一的なマニュアルは整備していなかった。そのことで、部署ごとの取り扱い手順やチェック体制に差異があった。現在、現金の取り扱リスクを洗い出し、未然防止を図るための共通マニュアルを策定中である。

問 特別職はコンプライアンス研修を受講したのか。

答 受講していないが資料を研修前に確認し共有している。



こんまん ぶんお
金萬 文雄



質問者の動画が見られます

問 町は合併処理浄化槽維持管理として、1件につき2万2000円から2万7000円を補助している。しかし、実際の経費は5万円近い。浄化槽は個人が維持管理し、町の環境衛生に寄与している。補助金の増額が必要では。

答 個人負担は下水道月額利用料と変わらないため、現行の額で続ける。

問 浄化槽整備を個人の金銭的負担に期待するのは困難である。国も推進している※²公共浄化槽を導入し負担軽減を図っては。

答 個人へは、設置費への補助と町独自で維持管理費補助を実施している。また、合併処理浄化槽への切り替えも着実に進んでいることから、公共浄化槽は考えていない。

※¹ 合併処理浄化槽Ⅱトイレの排水と生活排水を同時に処理する下水道処理装置

※² 公共浄化槽Ⅱ市町村が合併浄化槽を維持管理する事業

問 維持管理補助金の増額を

答 現行の額で続ける

※¹ 合併処理浄化槽の整備



負担のない維持管理を

mobiの利便性向上

問 乗降場所の追加変更は可能か

答 要望があれば追加する

問 mobiの乗降場所の追加変更は可能か。

答 利用者からの意見や要望などを参考に、乗降場所を追加する予定である。

問 スマートフォンでの利用登録が難しい人へ、サポートはできないか。

答 公共交通係の窓口で行っている。町内会やサークル活動など数人でも要望があれば、職員が直接向いてサポートする。

問 mobiにもシルバークラスを適用できないか。

答 実証運行中で収支率向上もひとつの目標であるため、料金の減免は考えていない。



つちむら ひでとし
土村 秀俊



質問者の動画が見られます

問 異常な物価高騰で食料が値上がりしている。量と質を確保した給食を提供するために、どのような対策を行っているのか。

答 不足分は、町の一般財源で補填している。令和7年度は、教職員の給食費を値上げし、財源の確保に努めている。

問 国の動向を注視し対象拡大へ準備

答 国の切実な声に応え、小学5年生以下の無償化を早期に検討すべきでは。

問 国において、令和8年度に小学校の給食費無償化を実現させるとの方針が示されている。国の動向を注視し、対象拡大に向けた準備を進めていく。

学校給食費無償化の拡大



無償化へは財源の確保が課題です

ふるさと納税

問 取り組みの成果は

答 町独自の施策実施に重要な財源である

問 ふるさと納税の実績は。

答 毎年寄附額が増加している。令和6年度の歳入見込み額は、約6億9000万円となっている。

問 取り組みの成果と町の財政や施策への効果は。

答 学校給食費無料化事業やシルバークラス事業など、本町独自の施策を実施する上で、大変重要な財源となっている。

問 各事業への配当の算定方法は、どのような過程を経て決定するのか。

答 寄附者が申し込みの際に使い道を選択している。その寄附額の割合に応じ、商工観光課で配分額を算出している。各事業への充当は、秘書政策課、財務課と協議している。

あの
提言は？

登録
してね！



第68回

追跡レポート

防災情報の発信へ 取り組みは



これまでの質問の中から一部を取り
上げその後どうなったか追跡し
てみました。

令和4年9月定例会

答

高齢者のデジタルデバイス対策
も含め、検討していきたい。

問

先進自治体では防災アプリを構
築し、災害情報などの発信をして
いる。国でも、防災・減災には
※DXが必要であるとしている。災
害時の情報活用能力を高めるため
に、防災アプリの構築を町も検討
してはどうか。

令和2年9月定例会

答

戸別受信機に限らず、さまざま
な手法を調査、検討しているこ
ろである。

問

町民から防災行政無線が聞こえ
にくいとの声が多くある。戸別受
信機の導入を推進してはどうか。

答

平時から災害時にとるべき行動
を知ってもらうために、避難行動
判定フローの周知は重要であると
捉えている。SNSによる発信は
調査していきたい。

問

SNSやLINEを利用し、避
難行動判定フローなどを発信して
いくことが大事ではないか。

令和7年
3月

防災アプリ「まもりふ」が
スタートしました。

災害時の緊急情報を迅速に発信します。平常
時でも活用できるよう、町からのお知らせやこ
みカレンダーなどのメニューもあります。ぜひ
インストールしてご活用ください。

令和7年3月定例会

答

防災無線で情報を提供し、アプ
リで聞き取りづらさを補つ。

問

スマートフォンを持っていない
高齢者もいる。「まもりふ」だけ
では高齢者は災害情報を受けにく
いのではないか。

答

防災無線は、建物の防音性の高
さや風向きで聞き取りづらいう
課題があった。その解消のため
導入する。

問

防災アプリ「まもりふ」を導入
する目的は何か。

令和6年
3月

防災アプリ開発のための予
算が計上されました。

梨農家部門 地域おこし協力隊に聞く！



ミッションは
「利府梨の継承・PRと町の魅力発信！」

町の特産品の『利府梨』を守っていくために、地域おこし協力隊として活躍している3人。協力隊となったきっかけもそれまでの経緯も全く違っている3人が団結し、利府梨の栽培技術習得のために一生懸命働いています。先輩農家さんから丁寧な指導をいただきながら、継承とさらなるまちの魅力発信のために奮闘している姿をご紹介します。

- Q1 お仕事はいかがですか？
Q2 協力隊になろうと思ったきっかけは？
Q3 これからやってみたいことは？

A1 農業は未経験でしたが、2年目を迎え、町の先輩農家の皆さんに親切に教えていただいています。農業の楽しさややりがい、人の温かさが魅力です。

A2 東京で開催されたイベントで利府町のブースを見かけたことがきっかけです。以前の仕事は家族と過ごす時間が少なく、子どもとの時間を大切にしたいと考えた結果、協力隊として梨農家を目指すことに決めました。

A3 ※ジョイント栽培という新しい技術を勉強していきたいと考えています。管理がしやすく、作業効率も高いため、今後の梨づくりに役立つと思っています。また、PR活動にも力を入れ、利府の梨の魅力を広めていきたいです。



かとう ゆういちろう
加藤 雄一朗さん

家族と一緒に
自然の中で
働く幸せを
感じています!!



さとう りょうじ
佐藤 穰司さん

町の農家さんに
とてもお世話に
なっています！
恩返しできるよう
頑張ります!!

A1 今年の4月に就任してから、毎日が新鮮で、いきいきと元気に働いています。農業経験はわずかでしたが、自然に触れながらの仕事は大きなやりがいを感じています。

A2 親戚の農業を手伝っていた経験から、農業に魅力を感じていました。利府町は新規就農の支援制度が整っていたので決断できました。

A3 まずは梨栽培の全作業を丁寧に学びたいです。町の先輩農家のみなさんに、教えていただいた技術をしっかりと受け継ぎ、独立をして恩返しをしたいと考えています。

A1 果樹栽培は未経験でしたが、2年目を迎え、徐々に手ごたえを感じています。最初は手探りでしたが、今は「こうすればこうなる」という感覚があり、楽しみながら学んでいます。

A2 直売所で利府梨のおいしさに感動し、「自分でも作ってみたい」と思い、先輩の紹介で協力隊になろうと思いました。

A3 利府梨をさらに多くの人に知ってもらうため、観光果樹園を開設し、人を呼び込む拠点にしたいと考えています。まだ準備段階ですが、仲間を増やして実現に向けて進めていきたいです。また、小中学生を対象とした農業体験の場づくりをやりたいと思います。議会のみなさんにもご支援をお願いします。



いしい わたる
石井 航さん

美味しい利府梨
を自分で作れる
楽しさを味わっ
ています!!

※ ジョイント栽培=複数の苗を1本の樹のように連結して栽培する手法。剪定や収穫の効率化が期待される

総務企画常任委員会

調査テーマ「選挙の投票率向上」

投票率向上の先進自治体を視察

●群馬県大泉町「共通投票所」

21か所あった投票所を7か所に集約し、共通投票所としました。二重投票を防ぐため、各投票所をインターネットで繋ぐシステムも導入しました。同時に、移動支援サービスも導入しました。

●福島県須賀川市「選挙パスポート」

投票率向上のためのツールとして選挙パスポートを市独自で作成しています。投票済みシール100枚が貼れるようになっている冊子を18歳になった有権者に郵送しています。



主権者教育への取り組みが必要です

●山形県遊佐町「少年町長・少年議会公選事業」

中・高校生を対象に実施しています。町のイメージキャラクターの発案や、通学路の安全対策など複数の政策が実現されました。

●山形県金山町「高校生への出前講座と模擬議会」

高校2年生を対象に実施する模擬議会は、選挙で当選した生徒が、政策を一般質問で提言し、答弁は町当局が行っています。その提言から複数の政策が実現していました。

●視察しての所管

各自治体にあった施策を、工夫を凝らしながら行っており、本町としても移動支援や主権者教育へは早急に取り組むべきと考えます。山形県では両町とも、青少年の発想を実現させる取り組みを行い、若者の地域離れをくい止める政策ともなっていました。本町としても取り組むことで町の将来につながると感じました。

●今後の取り組み

これまでの協議内容と今回研修した内容を提言としてとりまとめていきます。

産業建設常任委員会

調査テーマ「中小企業・小規模事業者への新たな支援策」

「natori sun(ナトリサン)」を視察

●名取産の特産品ショップ「natori sun(ナトリサン)」

名取市の大型ショッピングセンター内で一般社団法人名取市観光物産協会が運営する「名取市特産品ショップ」「ふるさと納税受付デスク」「観光案内所Natori city Tourist Information」を兼ねたショップを視察しました。名取市の魅力をより広く発信するために、市からの支援も受け、大型ショッピングセンターへ令和5年7月に移転し開設されました。市内事業者との係わりや特産品数、経営状況などを伺いました。

●視察しての所感

空港が近くにあることで、大型ショッピングセンターに訪れる外国人が多く、観光情報の発信地としての役割を果たしている様子でした。市内の特産品が集約され販売されていることで、市の事業者のPRの場ともなっていました。本町にも大型ショッピングセンターがあり、同様の体制で中小企業への支援と、町のPRの発信地として開設の必要性を検

討していきたいと思えます。

●今後の取り組み

これまでの視察、聞き取り調査の内容を改めて調査・協議し、中小企業・小規模事業者の支援策としての最終的な提言内容として具体的に取りまとめていきます。



魅力ある豊富な商品が並んでいました

教育福祉常任委員会

調査テーマ「子育て支援のさらなる充実」

子育て支援の先進自治体を視察

● 栃木県壬生町

「ファミリー・サポート・センター事業」

子育て支援センターや健診など多くの機会でファミサポのPRをしており、依頼会員数が469人と本町の約3倍の人数でした。保育士がアドバイザーとなり、子育て相談も受けながら協会会員と利用会員の橋渡しをしており、充実した体制であると感じました。

「子ども用品リサイクル事業」

子ども用品を譲り渡したい人と受けたい人が、希望する用品の情報を、ホームページに掲載しマッチングを行う事業です。フリマアプリなどの浸透により実績が減少しているとのことで、事業形態の検討を行っているとのことでした。

● 埼玉県三芳町

「ファミリー・サポート・センター事業」

近隣自治体と広域連携で事業を行っており、会員のメリットが多くありました。自治体により、対象年齢や預かりの場所、送迎のガソリン代など運用が異なる点があり、今後の課題とのことでした。

「育児支援・家事援助サービス利用補助事業」

産前産後の支援に、*産後ドゥーラ等による民間事業所の家事援助や育児支援サービスを利用した際の、自己負担を補助する事業です。国の補助などは受けずに町が一般財源で行っていました。育

児相談などの現状から家事援助の必要性を鑑み事業を立ち上げたとのことでした。

● 視察しての所感

ファミサポの事業は、利用者への周知や利用率向上など、課題は本町と同様でした。保育士がアドバイザーを担っている壬生町での取り組みは、本町としても検討する必要があると感じました。また、広域連携の可能性へ、本町としても近隣自治体との話し合いや、会員へのアンケートなどに取り組む必要があるのではないかと感じました。

● 今後の取り組み

視察した先進自治体の取り組みを参考に、これからの本町に見合った子育て支援策のあり方を検討し、提言書としてまとめていきます。

「利府町ファミサポ・子育てボランティア合同イベント」の様子



ファミサポの充実を目指します

* 産後ドゥーラ＝産後の母親に寄り添った支援を行う人

人事

高久時男議会運営委員長 の辞職

高久時男議員の6月11日における記念モノコメント寄附の経緯の一般質問の中で、出どころが明らかでない言説を用いた発言がありました。ふるさと納税寄附者の誠意を傷つけてしまったことに対し、その責任を取り、議会運営委員長を辞職しました。

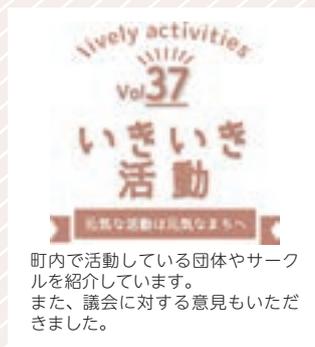
議会運営委員長の就任



鈴木 晴子 委員長

高久時男議員の議会運営委員長
長の辞職により、鈴木晴子副議
長が議会運営委員長を兼務する
ことになりました。

手話サークル 「まほうの手」



手話を通して
お互いの心を理解し合う
優しさあふれる居場所



「I Love you」の手話です。みなさん覚えてね！



28年前から活動

―活動のきっかけは？

28年前に、町が開催した手話教室に参加したメンバー3人でサークルを立ち上げました。設立時から講師として関わっている齊藤和賀子先生のもと、活動を続けています。東日本大震災やコロナ禍でも、その時々々の会員の状況に合わせて、無理なく活動してきたことで続いていると思っています。

皆で楽しく学んでいます

―活動内容は？

会員は20人で、年齢層は30代から80代と幅が広いです。習得レベルには個人差がありますが、日常生活ですぐに使える手話を、皆で楽しく学んでいます。練習後のお茶飲みが皆の癒しの時間となっています。

ボランティアでも活動

さまざまな場面で意思の疎通に手話が必要な人へ同行するなど、ボランティアの活動をしています。その人の細かい思いに寄り添った内容を伝えるお手伝いをさせていただいています。また、ろう者のご両親を持つ健聴のお子さんが通う、学校との連絡のお手伝いをすることもあります。

―これまでの活動で嬉しかったことは。

大阪・関西万博のボランティアを目指して手話を学びに来た人が、現在、実際に現地で活躍しているという嬉しい出来事もありました。



身近な会話を学んでいます



「まほうの手」 込めた想い

「サークル名「まほうの手」の由来は？」

手話は、音がなくても手の動きだけで人と人がつながる、不思議な力を持っています。まるで魔法のように感じられるその力を表現して、「まほうの手」と名づけました。—**手話の魅力を教えてください。**

健聴者が当たり前に思っていることが、障がい者の人にとってはそうではないことに気づかされることがあります。そうした壁を越えて、手話を通じて分かり合えることが最大の魅力だと思います。



また、デジタル化が進み、思いを直接伝えるコミュニケーションが減っているように感じます。

そんな時代だからこそ、対面で心を伝えることができる温かみのある手話は、魅力があると感じます。

安心して集える「居場所づくり」を

—**今後チャレンジしたいことは。**

会員の中にもさまざまな理由で参加できなくなってしまう人がいますが、戻ってくるまでみんなで



「ふるさと」のような安心の居場所です

見守るといって温かい集まりを続けてきました。これからも、安心して集える「居場所づくり」にも取り組んでいきたいと思っています。手話を通じて町民同士が楽しく交流

し、気軽に参加できるサークルを目指していきたいです。

町の福祉分野の充実を

—**議会に対してのご要望はありますか？**

福祉分野にも、もっと関心に向けていただき、支援をお願いしたいです。

一緒に活動しませんか？

県聴覚障害者協会や町の広報紙を通じて新規会員を募集しています。手話に少しでも興味のある方は、ぜひ一度見学にいらしてください。楽しく学べる環境を整えてお待ちしております。



お待ちしております！

お問い合わせ先「まほうの手」
☎356-5984(只野)

たのしい手話の世界をご一緒に!! 世界が広がります!

始めたきっかけは、聴覚障がい者とコミュニケーションをとりたいと思ったことです。



日本手話と日本語対応手話は違います。日本手話を覚えてコミュニケーションの輪を広げてほしいと思います。



いつも楽しく活動しています。男性の参加もお待ちしています!



手話を学んで、障がいを持つ人への気持ちが変わりました。難しくないのが楽しくやっています。



日本手話の歴史を学んで、世の中の見方が変わりました。たくさんの人に手話を知ってもらいたいです。



手話を学ぶのが楽しい。ろう者の方と楽しく学べますので、ぜひ一緒に。



手話の世界に何げなく入りました。細く長く続けていきたいです。



令和6年度
全日本少年少女武道(銃剣道)
錬成大会 第3位(敢闘賞)



いとうの
伊藤はな乃さん
(利府中学校3年生)

声 VOICE



迫力ある大きい動きが魅力の銃剣道

PRINTED WITH
SOY INK
環境に優しい大豆インキを使用しています

インタビューテーマ

「町の鳳雛インタビュー」

全国錬成大会3位入賞、おめでとうございます！銃剣道に出会ったきっかけはなんですか？

ざかい



兄がもともと銃剣道をしていて興味を持ちました。兄の稽古について行ったとき、周りの方からの勧めもありました。

競技の魅力を教えてください。

ざかい



剣道の竹刀とは違って長い木銃というものを使います。迫力のある大きい動きが魅力です。瞬時の判断力と素早い反応が求められるので集中力と精神力を鍛えられます。また、武道なので相手を敬う礼節を身に付けることができると思います。

大会に向けてがんばったことを教えてください。

ざかい



1分間勝ち負け関係なく稽古をした後、1分間休憩してまた相手を変え稽古を繰り返すという、第三稽古があります。相手は年齢や性別に関係なく大人や男性とも組むのでレベルアップにつながったと思います。

大人を相手に練習をしているのですね！さらに強くなってほしいと思います。利府町がこれからどのように発展してほしいですか？

ざかい



小さい頃と比べてすごく発展していると思います。自然や遊び場が少なくなっている印象があるので、バランスを大事にしながら発展してほしいです。

政治や選挙などに関心はありますか？

ざかい



政治は難しいという印象があります。学校の授業で環境や安全を守っている人がいると知って、将来自分も関わると思うと少し緊張します。

将来の夢や目標を教えてください。

ざかい



今習っている銃剣道や今まで学んだことを活かせればと思います。社会が得意なので社会の先生にちょっと興味があります。

鳳雛とは：将来すぐれた人物になることが期待される子どものこと。

発行 利府町議会

編集・発行責任者／議長 鈴木 忠美

編集/議会広報常任委員会

委員長 鈴木 晴子 副委員長 今野 隆之
委員 高久 時男 金萬 文雄 高木 綾子
須田 聡宏 郷右近 佑悟

〒981-0112 宮城県宮城郡利府町利府字新並松4番地
TEL:022-767-2127 FAX:022-767-2110

この議会だよりは1万4600部作成し、1部あたりの印刷製本費は約20円です。



利府町議会のホームページ
もご覧ください

みんなの議会 傍聴しませんか

次の定例会は、9月2日(火)から9月12日(金)を予定しています。

議会からのお願い

取材のため、腕章を着用した議員が写真撮影に伺うことがあります。ご協力をお願いいたします。